

令和6年度 筑豊地区中学校新人体育大会 軟式野球大会 要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟
直鞍地区各市町教育委員会
主管 直鞍地区中学校体育連盟

1 期 日

令和6年10月27日(日)

開 場 8時00分～
開 始 式 8時30分～
競技開始 9時30分～

- 2 会 場** 10月27日(日) 第一会場 光陵グリーンスタジアム(宮若市磯光 1668-2)
TEL 0949-33-1515
第二会場 直方市民球場(直方市大字直方 671 番地 2)
TEL 0949-25-2237
<予備日> 11月 2日(土) 第一会場 直方市民球場(直方市大字直方 671 番地 2)
TEL 0949-25-2237
第二会場 福智町金田球場(福智町神崎 1056-1)
TEL 0947-28-4100

3 参加資格

- 筑豊地区中学校総合体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- 中学校における引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員含む)とする。ただし、教育職員(部活動指導員含む)以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。地域クラブ活動における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任のある代表者・指導者とする。
- チームの編成は、一校単位で編成されたものを原則とする。ただし、申請をし、了承を得た複数校合同チームの参加を認める。

4 参加制限 各地区1位のみとする。

5 表 彰 3位までを表彰する。

6 県大会出場資格

3位以内は11月23日(土)・24日(日)福岡トヨタ的場池スタジアム(的場池球場)・桃園球場・大谷球場・本城球場にて行われる県中学新人軟式野球大会の出場資格を得る。尚、県大会に出場資格を得たチームは、県大会に参加する義務を負う。

7 申し込み

令和6年10月21日(月)までに各地区専門部長は専門部長に連絡する。
申込先：(三浦 宏之) (宮若市立宮若西中学校) (0949-52-2802)

8 各地区専門部長

地区	氏名	学校	学校住所	tel	fax	専門部長
田川	田村 拓也	大 任	〒824-0511 大任町大字今任原 30 番地	0947-63-2008	0947-63-4881	
直鞍	三浦 宏之	宮若西	〒822-0111 宮若市金丸 417-1	0949-52-2802	0949-52-2810	○
遠中	長濱 良介	遠 賀	〒811-4331 遠賀郡遠賀町別府 200	093-293-0043	093-293-0052	
嘉飯	小山田翔一	飯塚鎮西	〒820-0046 飯塚市大日寺 141 番地	0948-24-4432	0948-24-4513	

9 競技方法

- (1) 全試合で、5回以降7点以上差があるときはコールドゲームとする。
- (2) 延長戦は行わず、8回から12回までをタイブレークとする。タイブレークは、継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。尚、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。12回終了までに勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名全員による抽選によって決定する。
- (3) 日没・降雨コールドは次のとおりとする。
 - ① 5回まで終了していないときは、再試合とし、次の期日に行く。
 - ② 5回を終了している場合は試合成立とする。ただし、同点の場合は中断した状況のまま、次の期日に継続して行うものとする。

10 競技規則

2024年度公認野球規則及び申し合わせ事項及び指導者必携に準ずる。ただし、「連投は認めない」の項目は採用しない。また、「球数制限」については、実施する。

※球数制限については、次の通りである。

投手の投球制限については、大会中の投球数を「1日100球まで」とする。試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

11 申し合わせ事項

- (1) 筑豊地区最高の大会であることを認識し、校長または地域クラブ活動においては代表者の責任の下に大会参加生徒のマナーについては、指導の徹底を図る。
- (2) 競技中、中学生らしくない言動のあるときは、退場を命ずることがある。（応援の声援もフェアであること）
- (3) ベンチ入りできる人数は選手18名以内（マネージャーを含む）、監督1名、コーチ1名、引率教師1名の計21名以内とする。
- (4) 抗議はその当該選手及び主将、監督とする。
- (5) 試合前ノックはシートノックとする。後攻のチームが先に行い、7分以内とする。但し、状況によっては省略する可能性がある。
- (6) ランナーコーチは選手に限る。ランナーコーチはヘルメット着用すること。
- (7) 試合進行に関わり、必要でないのにタイムをとることは慎む。
- (8) 出場選手は1～18の背番号をつける。
- (9) メンバー表の交換は、前の試合の4回終了後行う。（本部・相手校・審判に渡す）
- (10) ベンチは若番号を一塁側とする。
- (11) 打者・走者の両耳ヘルメット、キャッチャーのレガース・ヘルメット・スロートガードの着用を義務づける。試合前のブルペン、またはノック時も例外ではない。控え捕手も防具を着用することが望ましい。（捕手の防具装備は、ベンチから出た位置で速やかに行うこと）
- (12) 選手の手袋については、白または黒の単一色のものに限り認める。ただし、守備機会の投手は着用を認めない。
- (13) マスコットバット、鉄棒およびバットリングの球場内への持ち込みを禁止する。
- (14) ペットボトルでの応援や、メガホン等で施設を叩くことを禁止する。
- (15) 使用できるバットは、J S B Bのマークがついているもの及び木製バットとする。
- (16) 移動を含む場合は、到着後40分後試合開始とする。（顧問は到着したことを本部に連絡する。）
- (17) 雨など事情により試合が早まる場合は、各地区専門部長を通して、該当校に連絡をする。また、アップの時間は確保する。
雨などの事情により試合が早まる場合は、各地区専門部長を通して該当校に連絡をする。
- (18) 打者・走者の両耳ヘルメット、キャッチャーのレガース・ヘルメット・マスク・スロートガードの着用を義務化する。
試合前のブルペンまたはノック時も例外ではない。捕手の防具装備は、ベンチから出た位置で速やかに行うこと。

